



P2

NPOあんしん特集

P3

女性部フェスティバル開催

P8-9

職員人事異動

I NDEX

04・05.....安曇野豊穰宮農メモ

06・07.....ほっとレポート

10・11.....すまいる情報チャンネル

12.....あつまるつながるみんなのあした

13.....あしたへのあんしん

14・15.....うれし楽し交流広場

NPOあんしんJA関連団体初の 厚生労働大臣最優秀賞を受賞!!



J A あづみくらしの助け合いネットワークあんしんは「第13回健康寿命をのばそうアワード（介護予防・高齢者生活支援分野）」でJA関連団体初の最優秀賞を受賞しました。地域住民の生きがいづくりに長い間、取り組んだことが高く評価されました。（※詳しくはスマイル2月号の8ページを参照）

同法人は「あんしん広場」を中心に様々な活動が行われており、どれも地域に根差し人と人とを繋いでいるものばかりで、会員数は約400人にも及びます。そこで一部にはなりますが下段からあんしんのこれまでの活動内容についてご紹介させていただきます。



▲昨年の12月末に安曇野市役所で表敬訪問が行われました

NPOあんしんのこれまでの取り組み

菜の花プロジェクト

「菜の花プロジェクト」では安曇野の休耕田を黄色に染めようという思いから活動が始まりました。ナタネやヒマワリを原料に食用油を作っていて、種まきや刈り取り、選別などをプロジェクトメンバーが手掛けています。メンバーが手掛けた安心・安全な油は2004年から毎年、安曇野市管内の学校給食センターに寄贈しています。



▲昨年の12月中旬ごろ食用油の贈呈式が行われました

あんしん号

「あんしん号」は交通手段が限られ、買い物に困っている地域住民を支えています。要望を受けた安曇野市の福祉施設や一人暮らしの高齢者宅を訪ね、お菓子や調味料、雑貨などの日用品を販売しています。1月下旬には「あんしん号」の新車両のお披露目式が行われ、今日も利用者の買い物を助けています。



▲新しい「あんしん号」の鍵の引き渡しを行う池田理事長㊦と宮澤清組合長

あんしんカフェ

昨年の12月から地域の支え合いセンターあんしんで「あんしんカフェ」が行われています。この活動を立ち上げた藤松寛子さんは「昔からの繋がりを大切に、地域の皆さんが気軽に集まれる場所になれば」と笑顔で話しました。「あんしんカフェ」では月に1度、地域住民が楽しく体を動かしたりして交流を深めています。



▲軽体操をして交流を深める参加者たち

じぶんらしく輝くために～住みよい地域社会を目指して～

女性部フェスティバル開催



▲南穂高支部によるリズム体操



▲三田支部による体操



▲佐々木秀実さんによる講演



▲女性部理事会によるレインボー体操



▲シャベラーズ26によるスコープ三味線の演奏



▲家の光図書の販売も大盛況でした

J A あづみ女性部は8日、安曇野スイス村サンモリッツで毎年恒例の「女性部フェスティバル」を開催しました。12支部の部員やJ A 役職員ら約190人が参加し、支部活動の発表や演奏、各支部での農産物・手芸品の販売、記念講演などを行いました。

同フェスティバルは、部員同士の絆を深めるとともに想いをひとつに生き生きと活動するため毎年開催していて、他支部の発表を聞くことで次年度の活動意欲向上にも繋がっています。

開会のあいさつで矢口美智子部長は「他支部の部員と交流ができる大変貴重な機会。ぜひたくさんの人と会話をしながら親睦を深めてもらいたい。本年度も盛りだくさんの内容になっているので、最後まで楽しんで欲しい」と述べました。活動発表では南穂高支部や三田支部の年間活動発表、シャ

ベラーズ26によるスコープ三味線の演奏、令和6年度の女性部理事が「レインボー体操」を発表し会場全体で体操を行うなど、1年間の取り組みを活発に披露。発表した部員は「ステージ上で発表をするのはとても緊張したが、仲間たちと気持ちを一つに活動内容を皆さんに伝えることができた」と笑顔で話しました。

会場には、支部活動で作成した手芸品や紙細工、絵画、ポスターなどなどを展示し、会場を彩りました。また、手作りの生こんにゃくや葉付き莖さびなどの販売も行われ、大盛況でした。

活動発表後には、シャンソン歌手の佐々木秀実さんによる「ちよつと、自分らしく生きなさいよ!」と題した記念講演や歌唱が披露され、参加者は「こんなに感動したのは初めて」と、大いに盛り上がりしました。

果実

3月になり暦の上ではもう春ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか?

季節の変わり目は体調を崩しやすいとも言いますが、健康第一で作業を進めて下さい。

『3月の作業』

【品目共通】

・剪定作業の見直し

三原則（受光体制の向上、作業効率の向上、防除効果の向上）が出来ているか確認し、必要な場合は剪定の手直しや誘引を行って下さい。

・春肥（芽出し肥）の施用

基肥の施用が出来ていない場合や、昨年の過剰着果などによる樹勢衰弱が心配な場合は、即効性の窒素肥料（硫酸など）を施用して下さい。

【一部品目のみ】

・桃の摘蕾

着果させる枝の背と腹を擦り不要な花芽を除去して下さい。葉芽

（三郷地域宮農センター主任 宮農 政寛）



と花芽の判別がつく場合は、花芽が膨らみ始めて葉芽がまだ固い時期が作業適期です。早い時期だと作業効率が悪く、遅くなると葉芽を傷つけてしまうので注意して下さい。

・ブドウやキウイフルーツなどの本剪定

ブドウなど一部品目では雪害対策や枯れ込み対策で粗剪定を実施してあると思います。厳冬期が過ぎましたので、枯れ込みなどを確認しながら切り戻しを行って下さい。

・梨の誘引棚付け

樹液が流動し枝が柔らかくなってきたら枝の棚付けを行って下さい。棚付け作業に併せて芽整理を行うと、この先の作業効率が向上します。

尚、詳しい作業方法などは、各地域宮農センター果樹指導員までお問い合わせ下さい。

そ菜

3月に入り、農作業が本格的に開始される時期となりました。今後の栽培管理について、主に春作野菜の定植作業と夏野菜の播種作業についてご紹介いたします。例年、3月の平均気温は5℃前後となり、日に日に過ごしやすいく春の陽気に変化して行く半面、最低気温は氷点下を記録します。作物を栽培する上では寒さに対してまだまだ油断ができません。特に露地作型では、低温対策として被覆資材等を活用するようにしましょう。

3月に播種・定植がお勧めのそ菜品目をご紹介します。

レタス類（定植）

レタス類の定植時期になります。露地作型では、必ず被覆資材を活用しましょう。通常は被覆資材（パオパオ等）を1枚べた掛けしますが、2重被覆させることで収穫時期を数日前進させることができます。

収穫目安としては、3月上旬頃の定植であれば5月連休頃の収穫となります。

ブロッコリー（定植）

深植えにならないように株元が少し高くなるくらいに定植するようにしましょう。よい花蕾を収穫するために、大きく充実した株になるように養成します。生育状態に応じて、追肥を実施しましょう。1回目は活着

して生育を始める頃、2回目は花蕾が見え始める頃とし、同時に中耕と土寄せを行うようにしましょう。アオムシ等の害虫対策に、防虫ネットを活用しましょう。3月下旬頃の定植で5月中旬頃の収穫となります。

ナス科野菜…トマト、ナス、ピーマン（播種）

ナス科野菜の花芽分化は、苗幼少期でおこります（表1参照）。育苗期に栄養生長と生殖生長が並行して進むため、育苗期での生育が、その後の果実結実・肥大に大きな影響を及ぼします。育苗では、
（1）光合成能力の高い葉をもった苗
（2）充実した花芽をもった苗
（3）圃場への定植時に活着のよい苗を作ることが目標です。

品目	花芽分化期		育苗期	
	発芽後日数	展開葉数	育苗日数	定植適期
トマト	15～25日	2～3枚	50～70日	第1花 開花直前
ナス	25～30日	2～3枚	70～90日	第1花 開花直前
ピーマン	30～40日	2～4枚	60～80日	第1花 開花直前

ジューズ用トマト栽培推進

JAあつみでは、ジューズ専用種トマトを加工業者に契約販売を行っております。約31万円/10aの粗収入が見込めます。労力軽減と面積拡大を狙い苗（毛苗・定植苗）の斡旋を行います。5月連休頃の定植で7月下旬の収穫開始予定です。

春先は大風が吹く傾向があります。自然災害に備えて農業用パイプハウスの補強・対策を講じてください。

詳しくは各地域宮農センター又は、各地区担当指導員までお問い合わせください。

（穂高地域宮農センター 唐澤 久智）

水稻

今月から本格的に水稻作業が始まります。

★種籾について

全量種籾更新をお願いします。
(JA長野県安全安心基準米の必須条件) 種籾の量は10a当たり3kgを基準に準備し、厚播きにならないようにします。

苗箱1枚あたりの播種量は乾籾で160gが適量。

※4kgネットを育苗箱25枚に播種。

米トレーサビリティ法に基づき種子購入伝票は3年間保存。農水省の立入り検査が入った場合に保存していなければ、罰則規定があります。

★種子消毒に『エコホープD』を使用する際の注意事項

有効成分は生菌ですので特に殺菌剤の『ダコレート』との体系処理は効果が低下するので使用しないで下さい。育苗期間中に青カビが見られるが、『エコホープ』の菌によるもので問題ありません。

消毒の残液は河川流入や、地下水への影響のないよう適正処理をお願いします。

※育苗期間中の参考薬剤

病原菌	症状	病徴	発生要因
フザリウム属菌	赤カビ	苗は萎縮枯死する。地際部と根が腐実し白いカビが見られる。	緑化期中の低温や乾燥・過湿で発生しやすい。
ピシウム属菌	カビ無	フザリウムに似ており急激に萎縮枯死する。坪枯れ状に発生しカビは見られない。	緑化期以降の急激な温度変化や日照不足で発生しやすい。
リゾグナス属菌	白カビ	菌全体が白カビに覆われ脆い場合は出芽せず種籾層にカビが見られる。	出芽時の高温や緑化初期の低温または過湿条件で発生しやすい。
トリコデルマ属菌	青カビ	フザリウムに似ている。根は短く数も少なく根茎と地際部や根の周りに青色のカビが見られる。	出芽時の高温(30℃以上)や育苗種の汚染によって発生しやすい。

使用時期	育苗箱 (30×60×3cm) 使用土量約5㍓	希釈回数	使用回数	使用方法 使用量	苗立枯病原菌			
					フザリウム	ピシウム	リゾグナス	トリコデルマ
は播前	ナエファイン粉剤		1回	箱当たり6～8㍓土壌薬剤	○	○	○	○
は種時～緑化期	ナエファインフロアブル	1,000倍	2回以内	箱当たり0.5㍓土壌薬液	○	○	○	○
	ダコレート水和剤	500倍	2回以内		○	○	○	○

★温度管理

浸種水温は10℃～15℃で積算水温で100℃を目安に行う。また、水温が5℃以下の場合、発芽勢が低下する場合があるため適温管理を！

※浸種水温が15℃を超えると『バカ苗病』の発生を助長！

浸種中は水を動かさず、2～3日は水を換ええない。4日目以降、水温が高い場合は種子が酸欠にならないよう水を換える。

催芽時・出芽時の温度は30℃を超えない温度管理を！(細菌性病害の発生を助長) 適正温度は28℃。機械を使用する際は温度設定(28℃設定)の確認！



(三郷地域営農センター課長代理 逸見 守信)

花き

～花き栽培を取り組みませんか～

露地でも栽培が可能で出荷できる品目や栽培方法があります。

今回は、比較的管理が容易な露地品目を紹介します。

ひまわり

ひまわりは露地栽培が可能な切り花で、直播での栽培のため、育苗の手間が掛かりません。播種後から開花の日数が読め、作業日程が組みやすい品目となります。

出荷の時期★6月～10月★

長期間の継続出荷が販売的に有利です。一斉に播種をすると開花が重なり、収穫が間に合わなくなる為、播種時期をずらして栽培を行います。主に夏場の花のため、9月上・中旬出荷位までの需要が見込めます。

※あづみ産のひまわりは市場の評価も高く、生産量の拡大が望まれています。

基本作型

発芽適温 25℃
生育適温 30℃～20℃
・露地
5月上旬～8月中旬 随時
圃場準備・は種

生育期 水・消毒管理は種後、50～60日で出荷

・ハウス
ハウス栽培は露地に比べ、春は早くから、秋は遅くまで栽培可能です。

アスター

盆花として、露地で栽培ができ、栽培管理も比較的容易に出来ます。市場からは貴重な品目とされ、栽培面積の拡大を要望されております。

7割～8割が注文で推移しており、通常の販売も各産地の生産量の減少から高値で推移しております。
※同じ圃場で連作が出来ない為、各産地で栽培面積が減っております。ぜひ作付けをお願いします！

基本作型

・3月下旬～4月上旬 は種
・4月下旬 仮植(本葉が見え出す頃)
・5月中旬 定植～ネット張り
・7月下旬 管理(水・消毒等)
7月下旬～切り花(収穫)

※ひまわり・アスター栽培講習会の開催

3月31日(月)午後2時～
営農経済事業部2階会議室

今回ご紹介した切り花以外にも興味がある方・栽培に興味を持たれた方は個別にご対応をさせて頂きますので、各地域営農センターまたは農産課へお問い合わせください。

(農産課主任 小山 幸亮)

「資産運用・資産形成セミナー」開講

1月
18日

JAあづみ金融共済事業部貯金課は、安曇野市豊科公民館で「今知っておきたいお金の問題、ゼロから学ぶ資産運用の基本」をテーマに「資産運用・資産形成セミナー」を開催しました。幅広い年齢層の組合員や地域住民ら約30人が参加しました。農林中金全連アセットマネジメント(株)よりシニア投資アドバイザーの吉澤清志氏を講師に迎え、約120分間講演を行いました。吉澤講師は「守りたいお金」と「増やしたいお金」といったようにお金の色分けをして自分のお金の状態を知り、資産がいくらあるのか、投資に回せるのはいくらかの把握することが重要だと参加者に呼び掛けました。



▲講演する吉澤講師

ポセラーツ作り教室初開催

1月
21日

JAあづみ女性部梓川支部は倭ふれあいセンターで初となる「ポセラーツ作り教室」を開催しました。女性部員や地域住民ら13人が参加し、講師の柳川由加子さんのアドバイスを受けながら色とりどりのシールを貼って制作作業を楽しみました。ポセラーツは真っ白な白磁に転写紙(シール)を貼り付け、高温で焼成させて作ります。この日は用意されたマグカップに、台紙から好きな形にカットしたシールを貼り付けるまでの作業を行いました。参加者たちは「難しいと思ったが手軽に楽しむことができた。またこういった機会があればぜひ参加したい」と話しました。



▲マグカップにシールを貼り付ける女性部員ら

チューリップとデジのリース作り

1月
24日

JAあづみ女性部烏川支部は堀金支所で手芸教室を開催し、女性部員や職員ら14人が参加しました。部員同士協力しながらチューリップとデジのリース作りを行いました。「JA家の光手芸教室」のページを活用。冊子を見ながら赤や黄色、ピンクといった色とりどりのモールを使用し、花びらや葉っぱ、茎を作りしました。花と茎、葉を合体させて土台とつなぎ合わせ、最後に全体のバランスを整えて完成となりました。女性部烏川支部長の本田津枝子さんは「お互いに教え合いながら、作業することができた。部員同士でコミュニケーションを図るいい機会になった」と話しました。



▲家の光の冊子を見ながらリース作りを行う女性部員ら

綿棒アート教室初開催 描画が得意な部員が講師に

1月
27日

JAあづみ女性部有明支部は、有明出張所で綿棒アート教室を開催しました。部員や職員ら20人が参加し、個性豊かな作品を作り上げました。講師を務めた女性部員の山根木三鶴さんは、絵を描くことが得意で、支部員たちから新しい取り組みをしたいとの声を受け、開催が決まりました。

綿棒アートは、綿棒にアクリル絵の具を付けて、花を描く山根木さん考案のオリジナルアート。筆を使わず、綿棒と絵の具のみで完成するため、手軽に作品ができます。

参加者は、山根木さんが用意した下絵を描いたキャンパスに、思い思いの花を咲かせました。赤や青、白、黄色の絵の具から好きな色を綿棒につけて、ぽんぽんと置いたり、延ばすようにするなどして、世界に一つのオリジナルの作品を仕上げました。完成した作品を見て「上手、すてきだね」と声を掛け合っており、交流を深めました。山根木さんは「一人ひとりの個性がでていて面白かった。時短で手軽にできるため、自宅などで楽しんでもらいたい」と話しました。



▲完成した作品をもつ女性部員ら

「安曇野スイス村ハイジの里」で節分イベント開催 無病息災を祈願

2月
2日

安曇野市豊科南穂高の農産物直売所「安曇野スイス村ハイジの里」で節分イベントを行いました。店内の「北陸豊鮮」では新鮮な魚介をふんだんに使った「特選海鮮恵方巻」を販売。連携直売所から仕入れたポンカンや落花生の詰め放題を実施しました。期間中のレジ通過者数は前年比269人増の3900人、総売上高は同比76万円増の873万円となり多くの家族連れで賑わいました。また、恒例の福豆まきを開催。内

田信一専務らJA役職員7人がハイジの里駐車場で、安曇野産ナカセンナリの大豆が入った小袋やポンカン、子ども向けのお菓子などを来場した約350人にまきました。大豆の小袋には米やリンゴ、調味料などの引換券が入った当たり券も用意しました。内田専務は「日頃よりご利用いただいている皆様へ感謝の気持ちと安曇野産農産物の五穀豊穰、そして来場者の無病息災を祈願する」と挨拶し、「鬼は外」「福は内」のかけ声で豆まきをしました。豆まきに家族で参加した男性は「家族が集まるきっかけになるので毎年楽しみにしている。健康で穏やかな1年なるように過ごしたい」と笑顔で話しました。



▲福豆をまくJA役職員と来場者

信州の伝統野菜「牧大根」の漬け物 販売はじまる

JAあづみ女性部西穂高支部の「牧大根プロジェクト」（降旗房子さん代表）が作る漬け物「安曇野つんめえ漬け」の主力商品「ぬか漬け」の販売が、安曇野スイス村ハイジの里やファミリーマート堀金烏川店、穂高農産物直売所で始まりました。

2月10日、西穂高ふれあいセンター加工所で袋詰め作業を行いました。メンバーの9人は、ぬか漬けを袋にいれ、真空パックにしラベルを貼り付けました。ぬか漬け（1袋250g、税込550円）は約3000袋の出荷を予定しています。※売り切れ次第終了。

幅広い世代に親しまれるのは、「時代に合わせ味の改良」だといいます。若い世代も食べられるよう「柿の皮や砂糖で甘味を足す」ことや「約3カ月間漬け込み辛味をなくす」などしてファンを増やしてきました。また、地元産の米ぬかや、風味を豊かにするためにメンバーの家でとれたナスの葉を乾燥させて漬け込む、昔ながらの手法で作っています。

メンバーの熊井悦子さんは「牧大根のバリバリとした食感を幅広い世代に楽しんでもらいたい」と話しました。



▲「うんめえ漬け」を持つメンバーら

セルリー令和6年度生産販売高104% 高単価の1年に

2月12日

JAあづみセルリー部会は12日、安曇野市で令和6年度通常総会を開きました。部会員やJA役職員ら17人が参加。令和6年度の事業報告や令和7年度の事業計画など3つの議案を審議し、承認しました。

令和6年度春作は、年明けの温暖でセルリー産地である静岡の出荷が早まり、スムーズな切り替えができたため、215000円の高単価で開始。出荷数量集計の精度を上げたことも売り場確保につながりました。

秋作では、夏場の猛暑により苗の根張りが芳しくなく、出荷開始が全体的に遅れ収量減の結果に。しかし1年間を通して、流通全体の数量が少なかつたため、214900円の単価高で出荷終了しました。生産販売高は、前年対比104%の1億2000万円。

25年事業計画では、同JAとJA松本ハイランドからなる松本洋菜生産販売方針を基本に、病害虫防除などに再徹底を図ります。またJAあづみとして、生産者の高齢化や部会員戸数の減少に歯止めをかけるため、若手生産者の新規参入および後継者の確保を部会一丸となって取り組んでいます。25年産生産販売計画は、1億478万円、出荷数量は4万3000ケース（1ケース10kg）を目指します。



▲挨拶を述べる一志部会長

麦追肥指導会開催 適期の追肥作業で高品質を目指す

2月13日

管内4会場で行われた令和7年度麦追肥指導会が開きました。7年度は10月末、11月初旬の降雨による出芽遅れや播種遅れにより、生育量は全体的に不足しています。生育量に合わせた適期の追肥作業を呼びかけ、多収量で高品質な麦生産を目指します。出荷計画は、2804トン、生産販売高は3億円を見込んでいます。

大麦は、麦茶用の「シユンライ」。小麦は、日本麺用の「しゅんよう」「しろゆたか」などを中心に約737畝で栽培しています。

13日、有明出張所で開いた指導会には、穂高地域の生産者21人が参加。松本農業農村支援センター技術経営普及課の谷口岳志主任を講師に、令和7年度麦の生育状況を確認。適期追肥作業や湿害対策などを学びました。

麦は2回の追肥を基本とし、1回目は「茎数確保」を目的に、2回目は「品質向上」を目的に行います。

茎数に合わせた追肥のタイミングや量が、収量やタンパク質含有率に関わるため、「追肥期に麦の生育状況をよくみることを心掛けてほしい」といいます。谷口さんは、「あづみは生産者の技術力が高く、収量性があるため産地への期待が大きい」と評価したうえで、「品質面の安定化を課題として、適期適量の追肥を呼びかけていきたい」と述べました。



▲追肥の時期やポイントを解説する谷口主任

JAあづみ長期構想・2025—2027 3力年計画策定委員会開催

2月19日

安曇野市豊科の安曇野スイス村サンモリッツで、「JAあづみ長期構想・2025—2027 3力年計画策定委員会」が開催されました。第1回を12月3日に、第2回を2月19日に開催し、総代会長や女性総代代表、各組織の代表者、准組合員などが出席しました。

第1回の委員会では、7月に実施した組合員アンケート調査結果のほか、現在取り組んでいる「長期構想・2022—2024 3力年計画」の中間総括や情勢・課題を共有し、次期3力年計画の骨子について協議しました。参加者からは様々な意見や要望が寄せられました。

第2回の委員会では、「長期構想・2025—2027 3力年計画（案）」の詳細について協議しました。この3力年計画は「10年後（2030）のめざす姿」の実現に向けた2期目の3力年計画となります。



▲第2回「JAあづみ長期構想・2025—2027 3力年計画策定委員会」が行われました

営業時間のお知らせ

3月から10月までは下記の営業時間となります。

業務区分	営業時間(月～金)	休業日
金融・共済業務	8:30～17:00 【金融・共済窓口】 9:00～15:00	土・日・祝日
ローンセンター	9:00～16:30	水・祝日 ※左記を原則とし、状況により営業する場合もある
地域営農センター	(3月・6月～8月) 8:30～17:00 (4月～5月) 8:30～17:00 土・祝日 8:30～12:00 ※梓川地域営農センターは4月～7月まで (9月～10月) 8:30～17:00	(3月・6月～8月) 土・日・祝日 (4月～5月) 日 (9月～10月) 土・日・祝日 ※上記を原則とし、地域の状況により営業する場合もある
地区営農センター	9:00～16:00 ※高家・倭は9:00～17:00 ※小倉は8:30～17:00	土・日・祝日 ※状況により上記以外にも休業する場合があります。詳しくは最寄りの各地域・地区営農センターまでお問い合わせください。
みどりの店	(3月) 8:30～18:00 (4月～9月) 8:30～18:00 (10月) 8:30～17:00	無休
安曇野スイス村ハイジの里	9:00～18:00 (8月11日～14日 8:00～18:00)	毎月1日が休業日(4/1、7/1、8/1、9/1、10/1) ※5月・6月は休まず営業
安曇野スイス村ハイジの里別館	9:00～17:00	水曜日 (8月13日は営業)
穂高農産物直売所	9:00～16:30	土・日・祝日
そ菜特産流通センター	(3月～4月) 日～金 8:30～16:00 (5月～10月) 日～金 8:00～17:00	土・祝日の前日 市場休みの前日
果実流通センター	(3月) 8:00～15:00 (4月～7月) 8:00～16:00 (8月～10月) 8:00～17:00	(3月～10月) 土・日・祝日 (季節により変更あり)
耐久資材センター	8:30～17:00 (土曜日は緊急対応のみ)	日・祝日
生活課		
農業機械センター	8:30～17:00	土・日・祝日
プロパンセンター		
給油所	有明・温・倭	7:30～19:00
	烏川	月～土 7:30～19:30 日・祝日 7:30～19:00
	大野川	日～土 8:30～17:30
	奈川	月～土 8:30～17:30
	安曇野インター	全日営業 7:00～21:00
灯油配送センター	(3月) 8:30～17:30 (4月～10月) 8:30～17:00	無休
福祉課	月～土 8:30～17:00	日
ふれあいセンター	9:00～16:00	土・日・祝日 ※上記を原則とするが、地域の状況により営業する場合もある
その他一般業務	8:30～17:00	土・日・祝日

企業説明会のお知らせ

令和8年3月卒業予定の学生を対象に下記の通り説明会を開催いたします。当日は、企業概要の説明や職員への質問コーナーなどを予定しております。

- 日 時** 【第1回】3月12日(水) 午前の部:10時～12時 午後の部:14時～16時
【第2回】3月29日(土) 午前の部:10時～12時 午後の部:14時～16時
- 場 所** JAあづみ本所 大会議室(安曇野市豊科4270-6)
- 申込方法** マイナビ2026の応募フォームまたは下記お問い合わせ先までご連絡ください。
総務開発事業部 人事教育課 ☎0263-72-2930

【「農業保険法」に基づく公的保険制度です】

「園芸施設共済」に加入しましょう！

県内では大雪をはじめ台風やダウンバースト等の強風および突風による被覆材の損傷や本体の倒壊が発生しています。

予期せぬ災害に備えましょう



NOSAI長野 安曇野支所
TEL (0263) 72-5192

お見積り致します！

【例】直径31.8mm未満のパイプを使用した設置面積100㎡のビニールハウスに厚さ0.15mmのPOフィルムの被覆材をスプリング留めし、通年被覆した場合。(金額は概数)

掛金(年額) …… ☆新築時(本体および被覆材が1年目) 5,600円

支払共済金 … 屋根面の被覆材が全損の場合 79,000円
本体および被覆材が全損の場合 419,000円

掛金(年額) …… ☆耐用年数経過後(本体が11年目、被覆材が5年目) 2,400円

支払共済金 … 屋根面の被覆材が全損の場合 19,800円
本体および被覆材が全損の場合 177,800円

補償を充実させたものや掛金を抑えたものなど、加入者の選択及び希望に合わせたプランをご提案させていただきます。(被覆期間が短期の場合は、掛金が相応に下がります。)

詳しい内容が知りたいという方、加入をご検討の方はお気軽に NOSAI までお問い合わせください。
ニーズに沿った見積りを作成しご提示いたします。御連絡お待ちしております。

令和 7 年度記帳代行サービス募集のお知らせ

JAでは、組合員の皆さんの農業所得申告の決算書作成のお手伝いをしています。下記のようなことでお困りの場合JAにお任せください。

○記帳の仕方が良くわからない ○取引を記帳する時間がない ○書類作成が難しくて誰かに頼みたい
記帳とは

○JAがあなたの代わりに簿記記帳をします。

○複式簿記により貸借対照表や損益計算書、総勘定元帳を作成するので55万円または65万円の特別控除を受けることができます。

※記帳代行には利用料金が必要となります。

※募集期間 令和7年4月末締切

<お問い合わせ先>

JA あづみ営農経済事業部 担い手支援室 TEL 72-2933



あつまる つながる みんなのあした

安曇野市内の小学校で仲良く元気に「豆腐作り」に挑戦

12月20日
～
1月28日

JAあづみ
女性部

「豆腐作り」に挑戦



JAあづみ女性部は12月から1月末にかけて安曇野市内の小学校（堀金小学校・三郷小学校・穂高南小学校）で、各学校の畑で育てた大豆「ナカセンナリ」を使った豆腐作りのサポートをしました。女性部員とJA職員が講師となり「ざる豆腐」の作り方を手ほどき。児童は初めて食べるおからや湯葉などを味見しながら、ざる豆腐を完成させました。豆腐作りのサポートは同JAが展開する食農教育「あぐりスクールサポート」事業の一環。地域の農家や同JA女性部員らが学校へ出向いて子供たちに農家の思いや農作物が食卓に届くまでの過程などを伝えていきます。原料となった大豆は授業の一環で6月に播種をし、10月に収穫したもの。前日から水に浸しておいた大豆をミキサーにかけて煮た後、こしめので包み搾って豆乳と、おからに分けました。豆乳は焦がさないようにかき

混ぜながら80℃まで温度をあげ、にがりを加えて固めた後、おたまで丁寧にざるに移し、水気を切って仕上げました。出来たての豆腐を食べた児童は「食べてみたらとても甘くて、おいしくてびっくりした。持ち帰って食べるのが楽しみ」と笑顔で話しました。



▲大豆をミキサーにかけの女性部員(右)と堀金小学校の児童たち

女性部と常勤役員が懇談

女性の視点から意見や要望を

1月
24日

JAあづみ
女性部



JAあづみ女性部は、安曇野市豊科のビレッジ安曇野で毎年恒例「女性部と常勤役員、室・事業部長との懇談会」を開きました。女性部員や女性理事、JA役職員ら28人が出席。約2時間にわたり、様々な話題について話し合いました。同会は、女性の視点からJAの運営などに関する意見や要望を提案し、今後の課題などについてJA役職員らと直接話し合う機会として毎年開いています。開会にあたり、宮澤清組合長は「女性部の活動は、SDGsそのものであるといえる。食を守る活動として小学校への豆腐作りなど、住みよい様々な取り組みを通して、これからも地域が元気になるようにJAと共に活動してもらいたい」と挨拶を述べました。

部員らは、

「ふれあいセンターの継続希望」や「米の受け入れ体制の改善」、「ハイジの里混雑時の対応」のほか、「雑草駆除の要望」、「農機レンタルの要望」などの意見や要望を伝えました。常勤役員、室・事業部長は、いただいた意見や要望について一つひとつ回答しました。意見や要望は、令和7年度に向けて改善していく予定です。



▲挨拶を述べる宮澤清組合長

生き活き塾 修了式

「学んで実践」を合言葉に2年間の講座が修了

JAあづみは4日、安曇野市で「第13期生き活き塾修了式」を開きました。塾生23人は、2年間で21回の規定講座を修了。協同組合の原点である相互扶助の心や、身近な農業と食、福祉の現状や課題を学んできました。

修了式では、塾長の宮澤清組合長が「生き活き塾の価値は、自らがすすんで学び、実践する、『学んで実践』である。それは協同組合が目指したものであり現在もこれからも、安曇野に心豊かなふれあいの里を築くために、その中核としての活躍を期待する」と挨拶しました。塾生に修了証を手渡し、塾生代表の西山直美さんが謝辞を述べました。

修了式後は、元日本協同組合学会会長の田中夏子さんが「地域に拓く協同の営み～学んだことを暮らしと社会に活かそう～」をテーマに講演。

同塾は「学んだことは家庭で実践・地域で実践」を合言葉に1999年から延べ1,083人が受講。講座では、各講座で大学教授や県議会議員などの講師を招き講演会を開催してきました。他にも、たんぱく質に着目した料理教室の開催や、塾生が当番制で畑を管理しダイコンやほうれん草など様々な野菜を収穫しました。

生き活き塾から6つの協働活動が生まれ、修了生は活動を通じて現在も地域で活躍しています。活動には、遊休農地で菜の花や食用油専用のヒマワリを育て、JA管内の学校給食センターに贈る「菜の花プロジェクト」や育てた野菜などを販売する「ふれあい市」などがあります。

塾生は、学んだことを活かし家庭や地域で実践するために、今後も協同活動に励んでいきます。



▲塾長から修了証を受け取る塾生



▲第13期生き活き塾生

あしたへのあんしん



で赤鬼を追い払い、楡の厄払いと無病息災を皆で願いました。おやつ作りの行事で、氷餅作り用のお餅をつきました。蒸し上がる餅米の良い匂いと、つきたてのお餅に歓声があがりました。利用者様にのし棒で上手に延ばしてもらい少し切ってもらいました。この日のおやつにおしるこにしてとても美味しく食べました。美味しい氷餅が出来上がるのが楽しみです。

デイサービス
あんしんの里

楡

あつという間に1月も過ぎ、2月がやってきました。暖かく良い日が続きましたが、最強寒波で寒い日もあり、体調管理に気をつけて過ごしています。節分の行事で、豆まきを行いました。大きな掛け声

また、新しい壁飾りは、日々のレクリエーションの時間を利用して、椿の花を作りしました。花びらは赤や桃色の画用紙を1枚ずつ切って貼り合わせて1つの花にしました。木の幹は長く丸めてつなぎ合わせた新聞紙を使って作りました。とても細かな作業ですが、「上手にできるかな」「きつと綺麗になるよね」と言いながら完成を楽しみにしていました。

宅で恵方巻を食べたり豆まきをするかなど、皆で仲良く話をしました。それから鬼の絵を書いた置物に玉をぶつける鬼退治ゲームをして楽しみました。その後、鬼の役をした職員が出てきて、利用者の方が「鬼は外、福は内」の元気な掛け声で豆まきをして大いに盛り上がりました。

デイサービス
あんしんの里

南穂高

今年も毎年恒例になっている節分の日に合わせて豆まきを行いました。今年はなせ2月2日が節分なのか、自



年金相談室

年金の専門家（社会保険労務士または年金相談員）
がわかりやすく相談に応じます。

夜間や週末も開催しております。お仕事帰りやお
休みの日にもお気軽にお越し下さい。

日 時	場 所
令和 7 年 3月13日(木) 17:00~19:00	三郷支所
4月16日(水) 17:00~19:00	梓川支所
19日(土) 10:00~16:00	穂高支所
24日(木) 9:00~15:00	堀金支所

赤堀料理学園
校長 赤堀 博美

食卓を彩る
旬のレシピ

リンゴの カレーピラフ



赤堀料理学園
校長 赤堀 博美

ポイント
リンゴとレーズンの甘酸つ
ばさにカレーの風味がよく
合います。リンゴは「紅玉」
を使うと崩れずに炊き上が
ります。

材料(4~6人分)

米 3合(450g) タマネギ 100g
塩 小さじ1/2 レーズン 50g
豚肉(塊) 150g バター 大さじ2
リンゴ(紅玉) 1個 パセリ(みじん切り) 少量
ローリエ 1枚 スープ 600ml
カレー粉 小さじ1 (コンソメを湯で溶かす)

作り方

- ①米は洗って水あげしておく。豚肉は1cm角に切る。リンゴは皮付きのまま縦6つ割りにして芯を除き、3mm厚さのいちょう切りにする。タマネギは5mm角に切る。
- ②厚手の鍋を弱火にかけてバターを溶かし、タマネギ、豚肉を炒め、①の米を加えて透き通るまで炒める。
- ③スープ、塩、ローリエ、カレー粉を加え、①のリンゴ、レーズンを上にのせてふたをして炊き上げる。沸騰するまでは強火、その後は弱火で15分、さらに火を止めて10分蒸らす。
- ④皿に盛り付け、パセリを振る。

CROSSWORD PUZZLE パズル

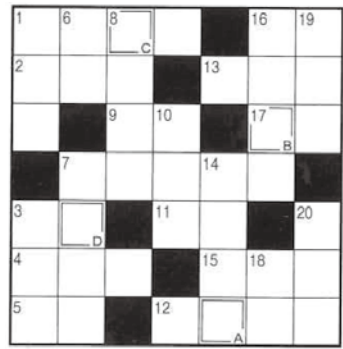
タテのカギ

- ① ———造って魂入れず
- ③ ニワトリの頭についています
- ⑥ エックスの次です
- ⑦ 赤の広場やクレムリンがあります
- ⑧ 卒業証書の——は筒よりファイルが主流になりました
- ⑩ 脚本に書かれているセリフ以外の文章
- ⑭ 地球を暖める天体
- ⑯ ひな祭りのお吸い物につきものの貝
- ⑰ ひな祭りに飾る花
- ⑱ 春の景色がぼんやりとして見える原因
- ⑳ 細川たかしのヒット曲「——の渡し」

ヨコのカギ

- ① 3月14日は——デー。バレンタインデーのお返しを渡すのによい日です
- ② お手洗いともいいます
- ③ バレーボールのセッターが上げるもの
- ④ 梅は咲いたか、——はまだかいな
- ⑤ 日本一長いものは367kmあります
- ⑦ イソップ—— 源氏——
- ⑨ 失敗は成功の——
- ⑪ 水戸、尾張に並ぶ徳川御三家
- ⑫ 羽ばたいて飛べるほ乳類
- ⑬ 漢字では「梭子魚」などと書く魚
- ⑮ 草餅によく使われる植物
- ⑯ お彼岸に参る人も多いところ
- ⑰ 弾力がある、噛んで食べる菓子

Q. 二重マスの文字をA~Dの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



(JA広報通信より引用)

応募ハガキの記入方法

85 399-8283 安曇野市豊科 四二七〇一六
JAあづみ総務課
マイレ編集部 発行

① クイズの答え
② 郵便番号・住所
氏名・年齢・職業
電話番号
③ JA・広報誌への
ご意見、日頃の
出来事など

(皆様の声をお寄せ下さい)

応募締切
3月17日(月)必着

正解の中から抽選で3名の方に、JAまごころ商品券(1,000円分)をプレゼントします。
(毎月20日頃発送)

A.2月号の答え



解答 A B C D E F
① ② ③ ④ ⑤ ⑥

応募総数 40 通

当選者 安曇野市 植原さん
安曇野市 傳刀さん
松本市 金井さん

交通事故が
起きてしまったら

JA共済事故受付センター
(365日、24時間対応)
☎0120-258-931

ガス回りの
トラブルの時は

JAあづみプロパンセンター
(365日、24時間対応)
☎0263-73-6860

葬祭の
ご相談・ご案内

JA葬祭あづみ
(365日、24時間対応)
☎0120-721-047

JAファームみどりの店からのお知らせ

3月に入り、種ジャガイモの植付け時期です。じゃがいもの生育におすすめの肥料を紹介します。

		
いも専用肥料（元肥） 「いも」の育成に必要な、チッソ、リンサン、カリがバランスよく配合されています。 1㎡あたり 110g～130g	有機堆肥 牛ふん・樹皮堆肥を丹念に発酵処理。土壌がやわらかくなり、保水性・透水性・通気性が良くなり、健全な土壌に若返ります。 1㎡あたり 2kg～3kg	苦土石灰 酸性土壌を中和して地力を高めるとともに有機質の分解を助け、植物の葉緑素や根の生育には不可欠なものです。 1㎡あたり 100g

また、各種、種ジャガイモ（男爵・キタアカリ・メークイン等）好評販売中です。是非ご来店ください！

※天候や入荷状況により、一部店頭に並んでない品種もございますのでご了承ください。

今月の星占い

- ♈ 牡羊座** (3/21～4/19)
 上昇運。迷っていたことに方向性を見いだせそう。やりたいうことをリストアップすると吉。外出を増やして
- ♎ 天秤座** (9/23～10/23)
 やることが多く忙しくなりがち。スケジュールの組み方で効率化を図れます。冷静に状況を整理しましょう
- ♉ 牡牛座** (4/20～5/20)
 少しお人よしが過ぎてしまうようです。できないことまで引き受けないように。用事を整理し、予定を立てて
- ♋ 蟹座** (10/24～11/22)
 好調運。長年の苦勞が報われる出来事の予感です。新しいことを始めるのも吉。お花見に出かけましょう
- ♊ 双子座** (5/21～6/21)
 手詰まりを感じていたことに活路を見いだせます。小まめに情報収集を。友人の意見を参考にするとのお勧めです
- ♏ 射手座** (11/23～12/21)
 理不尽な状況に心を痛めることがあるかもしれません。運勢は下旬から上昇。様子を見て待つのも1つの手
- ♊ 蟹座** (6/22～7/22)
 周囲からの支援が心強いとき。口うるさいと感じる助言にも聞いておくだけのメリットがあります。仕事優先で
- ♈ 牡羊座** (12/22～1/19)
 スリリングな運氣です。危ない場所には近寄らないで。周囲とコミュニケーションをよく取って誤解のないように
- ♌ 獅子座** (7/23～8/22)
 面倒な相手ほど丁寧に接しましょう。経験談には今のあなたに役立つ話が入っているはず。旅行の計画にツキ
- ♒ 水瓶座** (1/20～2/18)
 争いは避け調整を心がけて。平和的な手段を取ることであなただの株が上がります。近距離旅行にツキあり
- ♍ 乙女座** (8/23～9/22)
 予想外の展開がありそう。かなりの追い風です。反発するより流れに乗るのが正解。臨機応変にチャンスを生かして
- ♓ 魚座** (2/19～3/20)
 勢いがあります。ダメ元でやってみたこともなんとかかなりそう。率先して動きましょう。行動的なほど開運

理事会報告

〈2月27日開催〉

- JAあづみ長期構想・2025～2027 3カ年計画並びに令和7年度事業計画の設定について 他

スクラム

2月19日現在

- 直売所「安曇野スイス村ハイジの里」登録会員／729

みんなの声

- 年金受給を検討**
 しています。年金相談の予定が出ていたもので相談に伺いたいと思っています。
 (安曇野市 飯島さん)
- 春**が待ち遠しい今日この頃。暖かい季節の便り（お花や果実の花）楽しみにしています。
 (松本市 斉藤さん)
- 食**の大切さを考え、野菜栽培に気持ち・実行・体力アップして進化したいです。寒くてすぐが抜けてしまいたい中、脳トレ、筋トレをしています。早く春が来て欲しいです！
 (安曇野市 沢渡さん)
- 節分**が過ぎたのに今年は寒い日が続いています。今年もひな人形を出してあげない。春の始まりです。
 (安曇野市 倉科さん)
- パズル**と宮農メモを楽しみにしています。
 (松本市 細田さん)

編集後記

早いものでもう3月ですがまだまだ肌寒い日が続いていますね。私は寒さに弱いため朝やつの思いで起床しています。いただいたおはがきに目を通すと活発的に活動されている方がかり。私も春が来るのを楽しみに毎日仕事に励みます！

(S.M)

2025年4月から、当組合ではタブレットでのお取引受付を開始します

タブレットで
簡単・便利に

JAバンクでの
お取引を
もっと便利に

JAバンク スマイルナビ

郵便番号
検索すると住所が
自動で表示されるし、
金融機関も検索できて
とっても楽ね！
伝票よりも便利で
入力しやすいわ！



タッチで簡単
お取引！

JAバンクスマイルナビで、大変
だった書類への記入が不要に。
タブレットの画面に沿って必要
事項を入力・選択するだけで、
お取引の受付ができます。^{※1}

1回



複数の書類
記入不要！

複数のお取引でもタブレットな
ら署名は一度きり。
続けて入力する場合、2件目
のお取引から同じ内容は自動表
示されるため、入力不要です。^{※2}



カード持参で
自動入力！

キャッシュカードをご持参いただ
ければ、住所等のお客情報や口座
情報が自動で表示され、簡単・便利
にタブレット入力が行えます。^{※3}



タブレット画面で
文字が見やすく、
簡単に操作できて
とっても
便利だぞう

ご利用いただけるお取引

お預入れ 	お引出し 	お振込み
お届け内容の 変更 	定期貯金 	定期積金
普通貯金等 口座開設 	普通貯金等 のご解約 	キャッシュカードの 発行・再発行等

※1 キヤッシュカードと暗証番号による認証成立を条件に、同一名義で当組合に開設された当座性口座・定期
性口座の情報および届出事項の一部がタブレットに表示されることがあります(JAごとに表示される内
容は異なります)。詳しくは窓口までお問合せください。

※2 金額等の必要事項の入力等は必要となります。
タブレットは一度に最大10件のお取引の入力を行って行うことができますが、署名は一度きりとなりま
す。また、続けてお取引の入力を行う場合は、一度入力した住所・電話番号などの再入力不要です。

※3 キャッシュカードはカード表面記載の会員ご本人様のみご利用いただけます。お客さまのカードをご家族等が
ご利用することはできません。また、暗証番号についてもご家族を含めた第三者に開示されることも禁止され
ています。ご家族名義のキャッシュカードをご希望のお客さまは窓口までご相談ください。

JAバンク 詳しくはお取引のあるJA窓口にお問合せください。 ※一部のJA・店舗ではご利用いただけません。

あづみ農業協同組合

●スマイル/No 707 2025年3月1日発行
●発行人/宮澤 清
●編集/スマイル編集委員会 編集事務局/総務開発事業部総務課
〒399-8283 長野県安曇野市豊科 4270-6
●<http://www.ja-azumi.iijan.or.jp/> ●印刷/有限会社安曇印刷



JAあづみHP

＼SNS で旬な情報を投稿しています／



MATSUMOTO
Yamaga F.C.

JAあづみは松本山雅F.C.を応援しています